

A 課題の整理 援助者が感じている課題

事例にあげた課題に対して、あなた自身が困っている事、負担に感じている事等を具体的に書いてください。

- ・アルツハイマー型認知症の軽度例であるAさんが、これまでどこの医療機関に言ってもまともに意見を聞いてもらえず、介護保険のサービスの中に軽度の人の中に寄り添うことが見出だせなかったために、医療機関のカウンセリングを受診してきた。この人の心に寄り添いたいと思う反面、軽度認知症の人がカウンセリングにあふれてしまうと、他の人の診察ができなくなることが心配である。

B 課題の整理 援助者が想定する対応・方針

あなたは、この方に「どんな姿」や「状態」になって欲しいのですか。

- ・Aさんに、認知症であっても安心して暮らしてもらいたい。そのためにはAさんが安心して暮らせる地域があればいいと思う。
軽度であるからと言って認知症への恐怖が軽いわけではない。医療機関よりももっと身近な生活の場で、Aさんのような悩みを持つ人が気軽に悩みや不安を打ち明けられるところがあればいいと思う。

そのために、当面どんな取り組みをしたいと考えていますか(考えましたか)

- ・今のところはAさんの不安を受容し、支持的に支えることが大切だと思っている。ケアにつなぐために地域包括支援センターの高齢者総合相談につなぐことも考えている。一度Aさんを担当しているケアマネジャーとも会って(Aさんも同席で)Aさんの希望を伝え、アルツハイマー型認知症の進行程度についても情報を共有したい。もちろん娘の理解を得、Aさんの心を伝えていきたい。

C 本人の状態や状況を事実に基づいて確認してみよう

困っている場面で、本人が口にする言葉、表情やしぐさ等を含めた行動や様子等を事実に基づいて書いてください。

- ・「私の気持ちは誰もわかってくれない。」と、何度もくり返して嘆く。
- ・「介護保険のサービスでは私の希望に沿うところはない。」と怒る。
- ・「医療機関なんて私の言葉を聞こうともしない。」
- ・「あなたは大丈夫。」と言われるたびに不安が強くなる。

D 課題の背景や原因等の整理

本人にとっての行動や言葉の意味を理解するために、別紙の展開図に記入してから、課題の背景や原因として考えられることを書きだしてみましょう。

- ・ 本人の能力がしっかりと残っている反面、そのためにケアの必要性が見落とされている。認知症が軽度であるが故の「苦悩」に応えていない。
周囲の人や娘との交流が少ない。もっとも周囲の人は、Aさんがあまりにもこれまで指導的立場にいたために、「まさかあの人が」と本人の訴えを聞こうとしない。

E 事例に書いた課題を本人の視点に置き換えて考えてみよう

ここで、この事例を本人の立場から、もう一度考えてみましょう。

本人の言葉や様子から、本人が困って（悩んで）いること、求めていることは、どんな事だと思いますか？

- ・ 自分の「よるべなさ」をわかってほしい。
自信をなくしてしまっているので、何らかのサポートによって安心できるようになりたい。
介護保険の施設やサービスでも、自分のような認知症の人への支援が欲しい。

F 課題解決に向けた 新たなアイデア

あなたが、このワークシートを通じて思いついたケアプランなど、新しいアイデアをいくつでも書き出してみましょう。

- ・ Aさんのように軽度であるがゆえに周囲の人に認知症と認めてもらえない人は、「自分がこれまでと違う。」という不安や絶望感に向き合っている。Aさんの安心感を得るためには、初期の段階で本人の心を支えるサービスが必要である。特に精神科専門医療やカウンセリングといった「大げさな」関わりの前に、介護保険のサービスとしてこのような人の心に寄り添うことができれば、その後の認知症の安定に向けて大きな力になると考えられる。

(助言者の考察)

この事例では、当初課題と感じている点として、要介護認定を身体面では受けていながら、本人の「物忘れ」に対する不安を聞いてもらう場所がこれまでになかったこと、介護保険のサービスでは「相手にしてくれない」ことが挙げられていました。さらに、Aさんを中心にした視点からぶれることなく、このシートの設問を通して、本人の状態や状況を事実に基づいて確認したうえで、本人の能力がしっかりと残っているためにケアの必要性が見落とされている、認知症が軽度であるが故の「苦悩」に
応えていない、周囲の人や娘との交流が少ない、周囲の人は、「まさかあの人が」と本人の訴えを聞こうとしない、という4つの課題に整理して、初期の段階で本人の心を支えるサービスの必要性と介護保険のサービスとしてこのような人の心に寄り添うことができれば、その後の認知症の安定に向けて大きな力になることを見出だしました。この事例で特筆すべき点は、シートの設問だけで、十分に課題を深め、その課題を解決するための解決策を、常に本人の立場に立った客観的な事実と視点を持ち、抽象的な解決策ではなく、より具体的な解決策を導き出していることです。この事例を通して、事例ワークシートと思考展開シートが、あなたに多くの気づきを与え、悩みを解決するのに役立つことを、理解することができたことでしょう。